土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川　高梁川水系　学恩寺川　測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.1	**調査位置**	広島県庄原市東城町川西　地内			**北緯**	34° 54′ 5.4405″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2021年 12月 20日 ～ 2021年 12月 22日	**東経**	133° 15′ 59.7872″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 349.00m	**角度**	180°, 上下, 90°, 0°, 0°	**方位**	北 0°, 270 西, 90° 東, 180° 南	**地盤勾配**	水平0°, 鉛直, 90°, 35°
総削孔長	4.00m					**使用機種**	

試錐機	東邦地下工機　D1-B48		
エンジン	ヤンマー　NFD-12	**ポンプ**	東邦地下工機　BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	348.75	0.25		礫混じり粘土		暗褐			新生代第四紀完新世	表土・腐葉土に相当。コア長5cmの軟質な砂岩礫を混入する。	
	348.35	0.65		礫混じり砂		淡黄褐				砂岩の強風化土が再堆積したもの。0.6～0.65m間に未固結の細粒土を挟む(表土様である)。	
1	347.55	1.45		風化砂岩		淡黄褐			新生代新第三紀中新世	半固結短柱状コアを呈する。カッターで容易に削れる。【CL級，軟岩Ⅰに相当する】	12/21 1.63
2	346.55	2.45		風化礫岩		黄褐				未固結～弱固結土棒状で採取。1.45mに木根を混入する。強い指圧で崩せる所がある。深度とともに礫量，礫径とも減少し，逆に固結度は高まる。【DH級，軟岩Ⅰに相当する】	
3	345.00	4.00		風化砂岩		淡灰黄褐				5～25cmの短柱状～柱状コアを呈する。全体に黄褐の風化色を伴う。岩片は少し軟らかく，カッターで薄く削ることができる。貫入試料は指圧で粉砕できるほど軟化している。分離面はいずれも水平で，掘削による割れとみられる。3.7～3.9m間は固結度が低い。3.9m以深，礫分を混入し，礫岩に移行している可能性がある。【DH級，軟岩Ⅰに相当する】	
4											
5											
6											
7											
8											
9											

標準貫入試験

深度－N値図　0　10　20　30　40　50

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
214	1.15 / 1.22	50 / 70			50 / 70	70	
94	2.15 / 2.31	30	20 / 60		50 / 160	160	
75	3.15 / 3.35	25	25		50 / 200	200	
100	4.15 / 4.30	25	25 / 50		50 / 150	150	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					12/20
					12/21